

算 要 求 資 料

令和4年度当初予算 支出科目 款：衛生費 項：環境管理費 目：環境管理推進費

事業名 「清流」環境保全推進事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

環境生活部 環境企画課 環境企画係 電話番号：058-272-1111 (内 2697)

E-mail: c11265@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 1,620千円 (前年度予算額：2,094千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	2,094	0	0	0	0	0	2,048	0	46
要求額	1,620	0	0	0	0	0	1,580	0	40
決定額	1,620	0	0	0	0	0	1,580	0	40

2 要求内容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

- ・第6次岐阜県環境基本計画の基本方針として掲げる「未来につなぐ人づくりと環境にやさしいライフスタイル・ワークスタイルの変容」のため、県民の意識の醸成や保全活動の活性化を図る必要がある。
- ・特に、本県のアイデンティティである「清流」を守り、活かし、次世代に伝えていくため、森・川・海のつながりを踏まえた県民協働による環境保全の取り組みを推進していく必要がある。

(2) 事業内容

- 県民による水環境の保全に向けた意識調査
 - ・カワゲラウオッチング (主に小学生が行う水生生物調査)
 - ・清流調査隊 (地域の水質汚濁の改善に取り組む団体を登録)
 - ・感覚による河川調査 (清流調査隊等による河川の目視・におい調査)
- 伊勢湾総合対策協議会
 - 伊勢湾流域における海岸漂着物などの課題に取り組むための3県1市 (岐

岐阜県、愛知県、三重県、名古屋市)による協議会への参加

○河川環境の保全に向けた普及啓発

- ・「清流月間」の普及啓発（環境基本条例により7月を清流月間に制定）
 - ▶新聞広告、ポスター・ちらしによる啓発
 - ▶7月に県内で行われる環境保全活動を県ホームページで紹介
- ・大型イベントでのブース出展
 - ▶ぎふ清流ハーフマラソン、農業フェスティバル等にブースを出展し、環境保全を啓発
- ・長良川清掃プロジェクトの開催
- ・清流ミナモの未来づくり
 - ▶NPO等が取り組む環境保全活動を登録しウェブサイトでの紹介

(3) 県負担・補助率の考え方

全県にわたる環境保全の普及啓発を行うため、県負担が妥当

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
旅費	106	職員の業務旅費等
需用費	794	普及啓発資材、チラシ等印刷、
役務費	700	郵便料、電話料、「マナビのトビラ」広告料
その他	20	伊勢湾総合対策協議会研修会
合計	1,620	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

- ・第6次岐阜県環境基本計画

基本理念：「未来につなぐ人づくりと環境にやさしいライフスタイル・ワークスタイルの変容」

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<p>・ 事業の必要性（社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断） <small>3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない</small></p>	
(評価) 2	人が集まるため新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した事業以外は、環境保全の大切さを知る機会を作る必要がある。
<p>・ 事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） <small>3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない</small></p>	
(評価) 2	人が集まるため新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した事業以外は、期待どおりの成果が得られている。
<p>・ 事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） <small>2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている</small></p>	
(評価) 2	市町村や関係団体、他部局と連携して実施することにより、効率的に広く普及啓発を行っている。

(今後の課題)

<p>・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 環境を取り巻く状況は年々変化しているため、現状に合った啓発内容に見直すとともに、環境学習ポータルサイトとの連携やワークショップ型の体験活動など県民の関心を一層高めるための啓発手法を取り入れる必要がある。</p>

(次年度の方向性)

<p>・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 環境保全を推進するには、広く県民に対しその必要性を訴え続けていくことが必要である。そのため、事業の効果や効率を検証しつつ、引き続き県民による取組みなどを普及啓発していく。</p>
--

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

<p>組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課</p>	<p>・ ぎふ清流ハーフマラソン【地域スポーツ課】 ・ 農業フェスティバル【農政課】 ・ ぎふの木フェスタ【林政課】 など</p>
<p>組み合わせて実施する理由や期待する効果 など</p>	<p>・ 子どもから大人に至るまで幅広い層の方が参加し、県民に広く環境保全や生物多様性についてより効果的にPRできるため</p>